

カリキュラム編成の指針

保健師助産師看護師学校養成所指定規則が10年ぶりに改正され、2022年4月1日から施行されることになりました。

今回の改正では、現行の教育内容の枠組みは維持しつつ、超高齢社会における疾病構造の変化、療養の場の多様化、地域包括ケアシステムの推進という背景のなか、ますます多様化・複雑化するケアニーズに対応できる看護職人材の育成を念頭に見直しがされています。

本特集では、看護師等養成所におけるカリキュラム改正支援事業「カリキュラム編成ガイドライン」をはじめ、カリキュラム編成の指針となるものそれぞれの策定のねらいをご紹介しますとともに、そもそもなぜ今カリキュラムを考える必要があるのかについて、あらためて論点を整理します。さらに、指定規則改正をみすえて早期からカリキュラムの検討に取り組んできた学校の事例を取り上げ、またカリキュラム編成にあたって近年注目されているカリキュラムマネジメントという考え方について解説します。